

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すくすくホップ(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 11月 15日		～ 2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者や保護者が安心出来る場所である	<ul style="list-style-type: none"> 清潔、安全に配慮し、落ち着いて過ごせる環境作りを行っている。 モニタリングや送迎時等、保護者との会話や情報共有を大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な環境点検を行い、安心できる空間の維持に努める。 今後も保護者との会話を大切にして、信頼関係の構築を目指す。
2	学校や家庭とは異なる「楽しい居場所」である	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや活動を通して、楽しく過ごせる時間を大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の興味に合わせた活動内容の工夫を行う。
3	卒後を見据えた視点での支援を心掛けている	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で、姿勢への配慮や意思表示を促す関わりを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1人ひとりに合った関わり方を検討し、継続的な支援に繋げる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後の活動に十分な時間が確保しにくい	<ul style="list-style-type: none"> 送迎に時間を要し、活動時間が限られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度より保護者のご協力を得て、送迎時間を短縮したことで、活動時間に余裕が持てるようになった。 限られた時間の中で、利用者が楽しめる活動を行っている。 活動内容や流れを工夫し、ゆとりのある支援を目指す。
2	個別支援が不十分な場面がある	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動を多く取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動の中でも、個々の反応や特性に配慮した関わりを行っていく。 活動の組み立てを工夫し、個別に関わる時間を確保する。
3	地域とのつながりが十分とは言えない	<ul style="list-style-type: none"> 日々の支援が中心となり、地域との関わり機会が限られている。 	<ul style="list-style-type: none"> お祭りやイベント等、地域の方との交流を企画していく。 イベント等は、地域の方に興味を持ってもらえるように内容を工夫する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 すくすくホップ(放課後等デイサービス)

公表日 2026年2月1日

利用児童数 17

回収数 14

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14				広々としたスペースで色々な活動ができていると思う。	適切な環境で活動出来ていると思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	3		2	スタッフさんたちが適切と思えるなら適切。少ないと思うならもう少し配置してほしいです。 職員さんが大変でなければ… きめ細やかなケアをしてくれているので適切と思う	規定の人数・職員配置は守って運営しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14				適切と思う	こどもたちが安心して過ごせる環境作りを意識しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14				いつもきれいで心地よく過ごせていると思う	こどもたちが安心して過ごせる環境作りを意識しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1			赤ちゃんの時から長く見てもらっている ので小さな成長などにも気づいて支援して くださっている	多職種で連携しながら、個々の育ちに向 き合い支援しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14				合っていると思う	今後も支援プログラムに沿った一貫性の ある支援を継続します。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				面談などを通してしっかりと作成さ れていると思う	今後も保護者のニーズやこども達の育ち を捉えた計画を作成し、共育を大切に していきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14				きめ細やかに設定されており適切な内容 だと思っている	今後も継続していきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14				思う	今後も計画に沿った一貫性のある支援を 継続します。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				本当に色々な活動をしてくれて感謝で す！ 季節や行事などあわせて様々な取り組み されていると思う	今後も季節を感じることや、集団ならで はの活動を取り入れ、様々な経験を重ね ていきたいと思っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	4	1	7	イベント等になかなかいけず、見る機会 がないです。	春祭りや秋祭り、事業所内の公園での交 流はありました。今後もイベント等での 交流を大切にしていきます。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14				適時しっかり説明を受けています。	引き続き丁寧な情報提供に努めます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14				しっかり説明してくださっています。	引き続き丁寧な情報提供に努めます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1			夕涼み会やクリスマス会など家族ぐるみ で楽しめるイベントがあります。	今後も保護者のみなさんとの情報交換や 交流する機会を設けていたいと思いま す。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	14				毎回利用時には細かく様子を教えてくだ さります。	今後も保護者との丁寧な情報共有を継続 し、共通理解を大切にした支援に努めま す。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14				年に数回面談やほかの日頃も支援が行わ れていると思います。	今後も面談や日常的な相談支援を継続し ます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14				とても助けられています。	今後も保護者に寄り添った支援を継続し ます。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	2		夕涼み会やクリスマス会で色々な交流が得られると思います。	イベント開催時に、保護者同士やきょうだいの関わりが深められるように工夫しています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14			送迎時やLINEなどで何かあったら気軽に相談できる。	今後も相談しやすい体制を維持し、迅速かつ丁寧な対応に努めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14			連絡帳や送迎時にしっかり配慮されていると思う	今後もレンラウ町や送迎時のやり取りを通じ、丁寧な情報提供を継続します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	2		インスタなどで活動の様子を見ている。写真販売などもどんな様子かみれてうれしい。	インスタでの活動報告を充実させていきたいと思っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			子どもの顔出し等、きちんと配慮されていると思う。	引き続き個人情報保護に十分配慮した対応を徹底します。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2		連絡帳を通してそのような訓練されていると思います。	訓練実施時やモニタリング時に周知しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			連絡帳を通してそのような訓練されていると思います。	今後も定期的な訓練を行い、内容の周知に努めます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14			適時、避難訓練などもしていると思うので連絡帳を通して把握しています。	安全確保に関する取り組みを継続し、適切な周知を行います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			あざやきず等の連絡を丁寧にくださっています	今後も速やかで丁寧な連絡・説明を徹底します。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14			帰宅時の楽しかったよーって言っているような声や表情から安心して通所でできていると思う。	今後も安心して通所できる環境作りに努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14			お話をしたりはできませんが、友だちや職員さんとすごのが楽しいようです！	今後も楽しく過ごせる支援環境の維持に努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1		兄弟たちの行事に行けるようになったので感謝しています。色々家族の希望などにも沿って支援して下さり大変感謝しております。	ご家族の希望に寄り添った支援を継続し、さらなる充実につとめます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すくすくホップ(放課後等デイサービス)				公表日	2026年 2月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6			利用者に合わせて、対応する職員の配置数を検討し、利用者も職員も安心できるような環境を整えていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		物品を置く位置等、安全面や衛生面を考慮して設定していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	会議等でみんなで目標設定し、定期的に振り返りも行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		職種に関係なく、協力してやっていけるように、意見交換の時間を大切にしている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		活動委内容や改善点など、意見交換する時間を意識的に設けている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	3		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				